

あすなりの木

光明中(じょう)
編集者: 根上由薫
No. 9号
平成29年7月7日

1学期末の総括(ぞうかく) ～夏休みを目前に控えて～



<三者懇談を活用して>

今学期も今週の一週間を残すのみとなりました。来週の金曜日からは、1学期末の三者懇談が行われます。4月から各自が積み上げてきた学習面や生活面、人間関係や部活動等、お互いの成果として得られたこと、あるいは、「課題」として今後の改善が必要と思われることについて検討し、今後の目標を話し合っていく機会となります。特に大切にして欲しいのは、「成果をしっかりと見せよう」ということです。何をどうするか、根拠のない成果は別個なのです。「勉強しただけで覚えられない」といふこと、「1」を5回書いた、「整理した」からきちんと振り返ることができた、など、具体的に「○○から、△△まで(何をした)」「△△と△△ができた」といふことが各自の「成果」なのです。今こそ「○○」を振り返りましょう。そのためには、逆にも「価値があること」改善、改善が必要なことに対し、「自分が何をすべきか」「自分に何が出来るのか」が見えてくる(わかる)ことが必要です。学習面や生活面を再度振り返り、各自の「成果」を確認しましょう。

<自然の脅威「災害から身を守る」>

今月初旬には、西日本豪雨、連日、その被害が拡大して新聞やテレビで知るたびに、胸がしめつけられる思いがします。災害を救うために、私たちは大いに力を尽くす必要があります。特に、命を守るために、災害から身を守ることは、最も大切なことです。災害から身を守るためには、災害の種類や発生する場所、発生する時期などを把握し、災害発生時の対応方法を事前に学び、実践することが大切です。また、災害発生時の対応方法を事前に学び、実践することが大切です。

はため、人の命を救うために懸命に行動した警察官の方々の犠牲や、行方不明になっておられる方々、多くのご冥福と、一日も早い復旧、復興を祈りいたします。

地震や台風、集中豪雨等、自然の持つ脅威(きょうい)に対して最大限の対応は、「自分自身は自分で守る」といふことですが、それだけでは不十分で、周囲に伝える力、互いに助け合う力(自助(じじゆ)と互助(たぎじゆ))が大切です。例えば、自然災害の発生(発生の発生)や、いざという時に持ち出す(非常用持ち出し品)を備えること、万が一の時に高層の出入り避難経路を確認しておくことなど、自分自身で出来ることの再確認をしましょう。

また、台風(たいふう)の被害や、大雨(おおあめ)では、台風(たいふう)の影響を受け、学校内の施設(しせつ)面(東側表)の下の天井の一部破損や、グラウンドの一部陥没(くわんぼつ)が確認され、下(しも)に生活学習委員会と連携し、専門業者さんに修繕(しゆせん)等に、対応(たいおう)し、学校生活(がくせい)に支障(しざん)をきたさないよう、何れも「学校が安全に、安心して暮らす(くらす)こと」を最善(さいぜん)の措置(そち)を講(こう)じておられます。みなの中には、心配(しんぱん)や不安(ふあん)を抱(いだ)いた方もいらっしゃると思いますが、場前(ばくまへ)においては「通学(つうがく)禁止(きんじ)」「使用(しよん)禁止(きんじ)」に注意(ちゆうい)をされています。また、ご家族(ごぞく)の方(かた)も、子どもに話を聞(き)いて、大変(たいへん)な事態(きざい)に陥(おち)り込まないよう、ご安心(ごあんしん)ください。また、ご家族(ごぞく)の方(かた)も、子どもに話を聞(き)いて、大変(たいへん)な事態(きざい)に陥(おち)り込まないよう、ご安心(ごあんしん)ください。

<長崎県「平戸半島地区」を「世界文化遺産」に登録決定>

【発表の記事：6/30(土) 日本経済新聞から】
パレーンの首都マナマで開催中の国連教育科学文化機関(ユネスコ)の第42回世界遺産委員会は30日、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」(長崎県、熊本両県)の世界文化遺産への登録を決めた。江戸時代のキリスト教弾圧のなかで信仰を続けた希少な宗教文化が評価された。

この「潜伏キリシタン関連遺産」は、長崎、熊本両県の両方で2つの地域、遺産で構成されており、本紙(ほんし)の発行(はつしゆ)で、平戸(へいこ)の聖地(せいぢ)「集落(しゆらく)と聖堂(せいどう)と(地蔵(ぢじゆ)堂(どう)跡(あと))」や、長崎(ながさき)市内(しやういん)に散在(さんざん)する「隠れ教会(かくれかえん)跡(あと)」が、世界文化遺産(せかいぶんか遺産)に登録(ていじゆ)されることになりました。

<夏、本(ほん)と出会い>

今夏(ことし)は、本(ほん)と出会い、読書(よみかき)を楽しむ季節(きせき)です。読書(よみかき)は、知識(ちしき)を身につけ、心を豊(ゆたか)かにするだけでなく、想像(しょうざう)の世界(せかい)に入り、自分(自分)自身(ごころ)を鍛(たく)錬(れん)する効果(こうか)があります。読書(よみかき)は、知識(ちしき)を身につけ、心を豊(ゆたか)かにするだけでなく、想像(しょうざう)の世界(せかい)に入り、自分(自分)自身(ごころ)を鍛(たく)錬(れん)する効果(こうか)があります。

<保護者(ほごしや)の皆様(みなさん)へ>

この学期(がく)が始(はじ)まりました。この学期(がく)は、子ども(こども)が成長(せいじやう)する大切な時期(じき)です。保護者(ほごしや)の皆様(みなさん)は、子ども(こども)の学習(がくしゆ)や生活(せいかつ)に協力(きやうりやく)をお願いします。

<夏、本(ほん)と出会い>

今夏(ことし)は、本(ほん)と出会い、読書(よみかき)を楽しむ季節(きせき)です。読書(よみかき)は、知識(ちしき)を身につけ、心を豊(ゆたか)かにするだけでなく、想像(しょうざう)の世界(せかい)に入り、自分(自分)自身(ごころ)を鍛(たく)錬(れん)する効果(こうか)があります。読書(よみかき)は、知識(ちしき)を身につけ、心を豊(ゆたか)かにするだけでなく、想像(しょうざう)の世界(せかい)に入り、自分(自分)自身(ごころ)を鍛(たく)錬(れん)する効果(こうか)があります。

<保護者(ほごしや)の皆様(みなさん)へ>

この学期(がく)が始(はじ)まりました。この学期(がく)は、子ども(こども)が成長(せいじやう)する大切な時期(じき)です。保護者(ほごしや)の皆様(みなさん)は、子ども(こども)の学習(がくしゆ)や生活(せいかつ)に協力(きやうりやく)をお願いします。

部名	結果
ソフトテニス男子	団体:県3位(決勝リーグ進出 2勝1敗)あと一歩で県優勝まで到達。個人:市の予選を突破した3ペアが出場。高野楓太・高安駿佑ペアがベスト16。
ソフトテニス女子	団体:1・2回戦を勝利勝ち、3回戦まで進出。県ベスト16。個人:生嶋美晴(3年)・並橋奈(1年)の姉妹ペアが県ベスト8(5位)、近畿大会出場。
バスケットボール男子	2回戦進出。2回戦の都立中戦は、離されては遠いところ、自然の戦いを展開、惜敗する。
バスケットボール女子	3回戦進出。特に2回戦の大瀬戦は手に汗握る好ゲームの末、3点差で執念の勝利。
バレーボール	1回戦敗退。3セットまでもつれる一進一退の攻防を展開したが惜敗する。
野球	1回戦敗退。先制されては必死で追いつく展開。何度も窮地をしのぎ熱戦を演じた。
サッカー	1回戦敗退。0対0のまま延長へ、延長も得点が入らず、最後はPK戦までの大激戦。
吹奏楽	県吹奏楽コンクール出場。追慕の演奏で魅了させる。金賞受賞。
※卓球	松本悠良(1年)が個人戦出場。県2位、近畿ベスト8、全国大会出場を果たす。
※水泳	上高友華(2年)が県大会出場。50m自由形は予選、100mバタフライは決勝進出。

※卓球及び水泳は部活動としては未設置であるが、学校が役員・引率する。